

森林環境教育 みやこ伊良原学園・伊良原小学校

(1～6年生全12名)

前日からの雨もすっかり上がって、気持ちのいい晴天に恵まれました。

今日は学校ではなく、伊良原ダムに隣接する伊良原森林公園（こもくりの森）での森林環境教育です。



まずは、展望所でダム湖を見ながら、あいさつ、自己紹介のあと、この祓川流域で見られる珍しい野鳥の写真を見て、地域の自然の豊かさを知ってもらいました。

子ども達も先生も、みんな興味津々。

さて、次は遊歩道が整備された森に入ってフィールドビンゴをやりながら散策します。

スギ、ヒノキの、よく手入れされた人工林に、イタヤカエデ、センダン、ヤブムラサキ、サンショウ、シイの木も見られます。

サンショウの葉っぱのさわやかなにおい、ふかふかのヤブムラサキの葉の感触、ウグイスの声、時折吹いてくる風も心地よい。

ダンゴムシや枯れ葉の間から飛び出してくるカナヘビも子どもたちの遊び相手です。



伊良原小学校は、伊良原ダムのさらに上流にある、自然に囲まれた、全校12名（1～6年生）の小さな小学校。

中学校も一緒になっているそうです。

子どもも先生も、家族のようにみんな仲良し。

元気で素直な1，2年生、優しい上級生、子どもたちにも負けないほど元気な先生たち…。

みんなが家族のような学校です。



裸地の硬い土と森のふかふかの腐葉土で、水の浸透実験。どっちが早くしみこむかな？



展望所に戻って、ダム建設のとき、どうやって地域の植生、生態を守ろうとしたのかお話しします。

当時の植樹作業の記念写真には、今日参加している伊良原小の先生も写っていて、みんな感動！

普段から自然に囲まれて暮らしている子供達は、やはり自然への想いも深く、子どもたちと一緒にあって積極的に関わってくれた先生方のおかげで、さらに自然への理解を深めてくれたように思います。

最後の振り返りの「楽しかったひと！」で、全員の手があがりました。(先生方も)